



2019年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月13日

上場会社名 井関農機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6310 URL <http://www.iseki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 富安 司郎

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 大楠 嘉和

TEL 03-5604-7671

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第3四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	120,975	1.5	4,525	26.0	3,259	17.8	2,132	3.9
2018年12月期第3四半期	119,186	1.1	3,591	22.5	2,765	49.2	2,219	33.4

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 1,761百万円 (46.1%) 2018年12月期第3四半期 1,205百万円 (67.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	94.42	94.28
2018年12月期第3四半期	98.26	98.11

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第3四半期	211,932	70,038	32.2	3,021.16
2018年12月期	201,156	68,959	33.4	2,974.78

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 68,249百万円 2018年12月期 67,200百万円

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準委員会2018年2月16日企業会計基準第28号)等を2019年12月期第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年12月期の連結財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっています。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期				30.00	30.00
2019年12月期					
2019年12月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	155,500	0.3	4,000	25.8	2,600	1.1	1,600	46.7
								70.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期3Q	22,984,993 株	2018年12月期	22,984,993 株
期末自己株式数	2019年12月期3Q	394,540 株	2018年12月期	394,999 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期3Q	22,590,555 株	2018年12月期3Q	22,589,300 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準委員会 2018年2月16日 企業会計基準第28号）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態に関する説明については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析をおこなっております。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、輸出を中心に一部に弱さが見られるものの、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調が継続しました。海外については、米国経済は個人消費の増加などから回復を続ける一方、欧州経済は生産や設備投資の一部に弱さが見られ、また中国経済は米中貿易摩擦の影響を受けた輸出の減少に加え、個人消費や生産の伸び悩みから緩やかな減速が継続しました。世界経済全体では総じて緩やかな回復が見られるものの、米中貿易摩擦の長期化や英国のEU離脱の行方等、先行きの不透明感が増しております。

一方、国内農業環境につきましては、担い手への農地集積や畑作・野菜作への作付転換など農業の構造的な変化が進む中、農機市場は足許では消費増税に向けた駆込み需要が見られたものの、基本的には横ばいで推移しました。

このような状況の中、当社グループは、国内においては新商品の投入や顧客対応の充実を図るなど、農業構造変化への対応強化、海外においては主力市場である北米、欧州、中国、アセアンでの販売強化に努めてまいりましたが、当社グループの連結経営成績は以下のとおりとなりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比1,788百万円増加し、120,975百万円(前年同期比1.5%増加)となりました。国内においては、消費増税に向けた駆込み需要が見られたことなどにより農機製品・作業機などが増加し、国内売上高は前年同期比2,078百万円増加の95,979百万円(前年同期比2.2%増加)となりました。海外においては、北米は、新商品の小型トラクタが好調に推移したことなどにより増加した一方で、欧州は為替円高影響や天候不順による芝刈機の減少、中国では現地在庫調整による田植機半製品の出荷減少、アセアンではタイ向けトラクタの出荷やインドネシア政府入札の減少などにより、海外売上高は前年同期比290百万円減少の24,996百万円(前年同期比1.1%減少)となりました。

営業利益は、増収による粗利益増加に加え、販管費の削減などで前年同期比934百万円増加の4,525百万円(前年同期比26.0%増加)となりました。経常利益は、為替差損や持分法投資損失の計上などにより、前年同期比493百万円増加の3,259百万円(前年同期比17.8%増加)となりました。親会社株主に帰属する当第3四半期連結累計期間純利益は、前年同期比86百万円減少の2,132百万円(前年同期比3.9%減少)となりました。

商品別の売上状況につきましては、次のとおりであります。

[国内]

整地用機械(トラクタ、乗用管理機など)は21,300百万円(前年同期比1.2%増加)、栽培用機械(田植機、野菜移植機)は8,005百万円(前年同期比7.2%増加)、収穫調製用機械(コンバインなど)は14,110百万円(前年同期比2.6%増加)、作業機・補修用部品・修理収入は33,360百万円(前年同期比5.9%増加)、その他農業関連(施設工事など)は19,202百万円(前年同期比4.6%減少)となりました。

[海外]

整地用機械(トラクタなど)は19,193百万円(前年同期比0.7%減少)、栽培用機械(田植機など)は1,026百万円(前年同期比41.5%減少)、収穫調製用機械(コンバインなど)は1,545百万円(前年同期比200.3%増加)、作業機・補修用部品は2,209百万円(前年同期比7.0%増加)、その他農業関連は1,020百万円(前年同期比37.5%減少)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

〔資産〕

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ10,775百万円増加し211,932百万円となりました。主に、受取手形及び売掛金の増加14,611百万円、たな卸資産の減少1,136百万円、流動資産その他の減少1,718百万円、投資有価証券の減少533百万円、投資その他の資産その他の減少685百万円によるものであります。

〔負債〕

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ9,696百万円増加し141,894百万円となりました。主に、短期借入金及び長期借入金の増加8,937百万円、支払手形及び買掛金並びに電子記録債務の増加672百万円、未払法人税等の増加842百万円、流動負債その他の減少1,909百万円、固定負債その他の増加1,038百万円によるものであります。

〔純資産〕

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,078百万円増加し70,038百万円となりました。主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上2,132百万円、剰余金の配当677百万円、為替換算調整勘定の減少248百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想については、当第3四半期連結累計期間の実績値および足許の受注状況等を踏まえ、前回予想(2019年2月13日)から売上高について8,500百万円減額修正いたしました。なお、営業利益以下につきましては、原材料価格が想定を下回ったこと、業務効率化による経費削減や販売面での価格見直し等により、前回予想の利益を確保できる見込みであることから、変更しておりません。

なお、本業績見通しにおける第4四半期の為替レートは、対1米ドル=108円(変更なし)、対1ユーロ=119円(125円から変更)としております。

[当期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)]

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	164,000	4,000	2,600	1,600	70.83
今回修正予想 (B)	155,500	4,000	2,600	1,600	70.83
増減額 (B-A)	△8,500	—	—	—	—
増減率 (%)	△5.2	—	—	—	—
(参考)前期連結実績 (2018年12月期)	155,955	3,179	2,629	1,090	48.29

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,475	7,065
受取手形及び売掛金	23,327	37,939
商品及び製品	46,495	44,692
仕掛品	6,046	6,706
原材料及び貯蔵品	1,177	1,183
その他	7,320	5,602
貸倒引当金	△51	△121
流動資産合計	91,791	103,068
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	25,378	25,794
土地	50,873	50,745
その他(純額)	20,589	20,825
有形固定資産合計	96,842	97,364
無形固定資産	1,082	1,279
投資その他の資産		
投資有価証券	5,817	5,283
その他	5,769	5,084
貸倒引当金	△146	△147
投資その他の資産合計	11,440	10,220
固定資産合計	109,365	108,864
資産合計	201,156	211,932

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,803	26,482
電子記録債務	15,933	13,926
短期借入金	31,475	35,096
1年内返済予定の長期借入金	11,401	10,660
未払法人税等	368	1,211
賞与引当金	482	859
その他	12,129	10,220
流動負債合計	95,593	98,457
固定負債		
長期借入金	20,571	26,628
再評価に係る繰延税金負債	5,780	5,759
役員退職慰労引当金	132	141
退職給付に係る負債	4,063	3,810
資産除去債務	322	325
その他	5,732	6,771
固定負債合計	36,603	43,436
負債合計	132,197	141,894
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,344	23,344
資本剰余金	13,452	13,452
利益剰余金	16,932	18,435
自己株式	△983	△982
株主資本合計	52,746	54,250
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	418	247
繰延ヘッジ損益	△0	△1
土地再評価差額金	12,670	12,622
為替換算調整勘定	864	615
退職給付に係る調整累計額	501	514
その他の包括利益累計額合計	14,454	13,998
新株予約権	78	75
非支配株主持分	1,681	1,713
純資産合計	68,959	70,038
負債純資産合計	201,156	211,932

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)
売上高	119,186	120,975
売上原価	83,840	85,154
売上総利益	35,346	35,820
販売費及び一般管理費	31,754	31,295
営業利益	3,591	4,525
営業外収益		
受取利息	91	146
受取配当金	90	139
その他	688	588
営業外収益合計	870	874
営業外費用		
支払利息	499	548
為替差損	50	234
持分法による投資損失	760	988
その他	385	370
営業外費用合計	1,696	2,140
経常利益	2,765	3,259
特別利益		
固定資産売却益	71	21
投資有価証券売却益	52	104
段階取得に係る差益	16	—
特別利益合計	140	126
特別損失		
固定資産除売却損	126	157
減損損失	10	79
その他	—	1
特別損失合計	136	238
税金等調整前四半期純利益	2,769	3,146
法人税、住民税及び事業税	984	1,542
法人税等調整額	△471	△567
法人税等合計	513	975
四半期純利益	2,256	2,171
非支配株主に帰属する四半期純利益	36	38
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,219	2,132

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	2,256	2,171
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△767	△171
繰延ヘッジ損益	19	△0
為替換算調整勘定	△46	△139
退職給付に係る調整額	△108	13
持分法適用会社に対する持分相当額	△146	△111
その他の包括利益合計	△1,050	△409
四半期包括利益	1,205	1,761
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,188	1,725
非支配株主に係る四半期包括利益	16	36

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準委員会 2018年2月16日 企業会計基準第28号)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。